

## 脱炭素社会の 実現へ向けて

Column No.182

文・笠間市長 山口 伸樹



写真/環境負荷ゼロへの挑戦(プラスチックごみゼロ宣言)に伴う  
市内事業者の先進事例発表および意見交換会

先般、菅総理が2050年までにカーボンニュートラル社会(二酸化炭素排出ゼロ)の実現を目指すことを国際公約として宣言しました。温暖化を含め環境対策の取り組みは地球規模での課題となっています。

笠間市としても、令和元年9月より市役所および公共施設において「ワンウェイプラスチック削減に向けた取り組み」をスタートし、さらに令和2年度には環境負荷ゼロへの挑戦として「プラスチックごみゼロ宣言」を掲げ、取り組みの強化を進めてきました。

令和3年度は、4月1日に環境負荷ゼロへのさらなる挑戦として「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、市役所内の取り組みから、市民や事業者の方々と一体となった推進へと取り組みを拡大していきます。

さまざまな課題はありますが、一人ひとりが意識を持って、小さなことから取り組むことが重要です。

環境について、一緒に取り組んでいきましょう。



教育長就任  
あいさつ



笠間市教育委員会教育長  
おぬま ひろみち  
小沼 公道

4月1日、歴史と伝統のある笠間市の教育長を拝命しました小沼公道です。学校教育22年、社会教育行政18年の経験を活かし、児童生徒の学びの保証、豊かな人間性の育成に精一杯取り組んでまいります。本年度は「児童生徒、教職員、保護者、地域が喜びを感じる学校を目指す」夢と希望が広がる学校づくりを基本テーマに、児童生徒一人ひとりが楽しく学び、確かな学力を身に付けられる取り組みを進めてまいります。

また、地域とともにある学校づくりを目指し、学校・家庭・地域社会との更なる連携を図り、教職員と一丸となって、笠間市の未来を担う子どもたちの豊かな心の育成に努めてまいります。